

2002年5月15日

ワールドカップサッカー大会開催にあわせ 英語版「パスネット」カードを5月28日から発売

パスネット協議会

パスネット協議会では、ワールドカップサッカー大会が開催されるのに伴い、英語版の「パスネット」カードを発売します。これは、ワールドカップ開催時に多数の外国のお客様の来日が見込まれていることに対応するもので、カード券面には利用できる鉄道事業者の車両イラストと、英語でカード利用方法を記載しています。

「パスネット」カードは、1枚のカードで関東地区にある20の鉄道事業者の路線をご利用頂ける大変便利なカードです。カードを自動改札機に直接入れるだけですので、運賃表を見たり、切符を購入する必要がなく、日本語に不慣れな外国のお客様も、気軽に日本の鉄道をご利用頂くことができます。英語版「パスネット」カードの発売に関する詳細は、別紙の通りです。



英語版「パスネット」カード1000円券(イメージ)

詳細

1. 英語版「パスネット」カード発売について

- (1) 発売開始 2002年5月28日(火)から
- (2) 発売内容 英語版「パスネット」カード(券種:1000円、3000円、5000円)
各社・局が上記3種類を任意に選択して発売します。
- (3) 発売場所 下記路線の駅にて係員またはカード発売機等にて発売
営団地下鉄、小田急電鉄、京王電鉄、京成電鉄、京浜急行電鉄、
埼玉高速鉄道、相模鉄道、新京成電鉄、西武鉄道、多摩都市モノ
レール、東京急行電鉄、東京臨海高速鉄道、東武鉄道、東葉高速
鉄道、都営地下鉄、北総開発鉄道、舞浜リゾートライン、ゆりかもめ、
横浜市営地下鉄 横浜高速鉄道では発売しません

2. 「パスネット」について

「パスネット」は、2000年10月から導入した共通乗車カードシステムの名称で、現在、20社・局の鉄道事業者が加盟しています。加盟社・局内の路線であれば、切符を購入せず、直接「パスネット」カードを自動改札機に入れるだけでご利用できますので、導入開始以来、多くの方から大変便利であるご好評を頂いています。もちろん、自動券売機や精算機でもご利用頂けます。加盟社・局は下記の通りです。

<「パスネット」加盟社・局>

営団地下鉄、小田急電鉄、京王電鉄、京成電鉄、京浜急行電鉄、埼玉高速鉄道、相模鉄道、
新京成電鉄、西武鉄道、多摩都市モノレール、東京急行電鉄、東京臨海高速鉄道、東武鉄道、
東葉高速鉄道、都営地下鉄、北総開発鉄道、舞浜リゾートライン、ゆりかもめ、
横浜高速鉄道(こどもの国線)、横浜市営地下鉄

以上